



豊東小だより

令和4年2月1日 2月号
練馬区立豊玉東小学校
校長 梅津 靖子

助け合う・支え合う気持ち

校長 梅津 靖子

季節はまもなく立春(2月4日)を迎えます。立春は、春の始まりであるとともに1年の始まり(旧暦)とされる日です。学校の桜の蕾も膨らんできているのが見て分かるようになってきました。その蕾を狙っているのでしょうか。鳥のさえずりも賑やかに聞かれるようになりました。1年の始まりとなる立春の前日は、節分です。大みそかに当たるこの日に、災いや邪気を払い、新しい年が良い年になることを願います。そのために、鬼を追い払うために豆まきをしたり、柵の枝にイワシの頭を刺して門に飾ったりするなどの風習があります。給食の節分メニューには、「いわしのかば焼き丼」「きな粉豆」が予定されています。「きな粉豆」は、大豆に きな粉をまぶしたものですので、大豆のパワーが2倍ですね。感染症の第6波は、いよいよもって勢いを増してきています。給食は黙食ではありますが、この状況が早く解消されることを心の中で切に願いながら、また、給食調理員さんが子供たちの健康を願って丁寧に作ってくださっていることに感謝して、節分メニューをいただきたいと思います。



さて、感染予防に十分に気を付けての学校生活ですが、子供たちが、友達との関わりを大切にしながら過ごしている姿を見ると嬉しくなります。休み時間に大縄跳びの練習をする学級が増えていて、笑顔がいっぱいで楽しそうです。途中で引っかかってしまうことがあっても大丈夫。皆で励まし合って跳んでいます。

掃除の時間の様子を見ても、それぞれの担当箇所を丁寧に清掃しています。階段の隅、靴箱を丁寧に掃き掃除をしている児童。「ごみで山になるくらい、皆でごみを集めよう。」と声を掛け合っていたり、担当箇所以外にも汚れを見つけて掃除をしたりしているグループ。子供たちが協力して掃除をした後の教室や廊下は、どこを見ても気持ちがよいものです。



朝は、ジョウロでプランターに水を撒いている児童がいます。放課後になると、環境委員会が、洗剤と雑巾を持って、水飲み場の蛇口の消毒をしています。よく見ると、他の委員会の児童も手伝っています。毎日の消毒活動は、想像していたよりも大変だと感じながらも、自分のすべき仕事と考え、欠かさず取り組んでいる環境委員の姿を見て、自分もできる時には一緒に消毒をしようと考えて手伝っているのだそうです。大変な仕事のはずなのに、とっても楽しそうです。

6年生は、交替で校旗を掲げて降ろすという活動をしています。ある日、低学年の児童が、「はい、これ。」と言って校旗を届けにきました。その後ろには、6年生がいます。その日の当番の児童が、一人で校旗を降ろすのに手こずり困っていたところに、同じ6年生が来て手伝ってくれたのだそうです。それを見て、低学年の弟も一緒に手伝ったのだそうです。「僕も手伝いました。」と、にこにこしています。困っている友達の姿を見て、そっと手を差し伸べることができる6年生。日頃から、仲間との関わりを大切に、6年生として自覚をもって行動しようとしているのでしょう。その姿を見て、低学年の弟も真似して手伝いながら、良い行動ができてよかったと満足した表情です。助け合う・支え合う行動が、あたり前に(決してあたり前にできることではないのですが)できて、笑顔と笑顔がつながっていく豊東の温かな輪を、これからも大切に広げていくことができるようにしていきます。

まん延防止等重点措置の適用により、2月の学校公開が中止になったことに伴い、PTAで企画していた「昔遊びの会」も中止せざるを得なくなりました。多くの児童の申し込みがあり、皆で遊ぶことを楽しみにしていた児童のことを思うと残念でありませんが、今は、皆で感染予防に努めなくてはなりません。基本的な感染予防にしっかりと取り組むとともに、児童本人が、または家族の方が、少しでも体調の不良を感じた時には、無理に登校せずに、自宅で静養するということが感染予防の一つです。先日、お知らせしましたように、学校では、やむを得ず登校しない場合でも、自宅で学習を進められるように、タブレットを活用して、課題のお知らせやオンラインでの学習支援など、できる限りの対応を図ってまいります。オンラインでの学習支援は、各ご家庭の都合等に合わせて、ぜひともご活用ください。活用にあたっては、個人情報の取り扱いには十分ご配慮いただき、子供たち一人一人の学びが、様々な形で継続できるよう、ご協力のほどよろしくお願ひします。なお、オンライン学習については、長時間にわたっての配信が難しい環境であるため、時間が制限される状況にあります。ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、学校と家庭とで連絡を取り合っ、子供たちの学びを止めないよう努めてまいります。よろしくお願ひいたします。